

## 小委員会の調査報告書

教科名	家庭科	委員長名 松 浦 勝 美
調査研究の経過	<p>1 審議の概要</p> <p>(1) 第1回調査委員会を6月13日(火)に稚内市生涯学習総合支援センターで開催。家庭科小委員会の委員長並びに副委員長を選出するとともに、調査研究の進め方等について確認した。</p> <p>(2) 6月14日(水)から7月11日(火)まで、「教科書見本本」、「教科書編修趣意書」、「採択参考資料」をもとに、調査研究を進めた。</p> <p>(3) 第2回調査委員会を7月12日(水)に稚内市生涯学習総合支援センターで開催し、報告書の作成を実施した。尚、調査研究した教科書見本本の発行者(略称)は、東京書籍、開隆堂、の2者である。</p> <p>2 調査研究の観点</p> <p>調査研究の観点は次の通りである。</p> <p>(1) 「取扱内容、内容の構成・排列」について</p> <p>(2) 「使用上の配慮等」について</p> <p>(3) 「その他」について</p>	
調査研究に当たった際の配慮事項	<p>次の点に配慮して調査研究を進めた。</p> <p>1 「取扱内容」について</p> <p>(1) 学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等に基づいて取り上げられているか。</p> <p>(2) 知識・技能の活用、思考力、判断力、表現力等及び学びに向かう力、人間性等の発揮による資質・能力の育成に対応できるよう、主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習内容、発展的な学習内容などがどのように取り扱われているか。</p> <p>2 「内容の構成・配列・分量等」について</p> <p>(1) 内容の構成・配列が、地域の実態や学年の発達の段階等に応じて、系統的・発展的に組織されているか。</p> <p>(2) 内容の分量が、各領域等ごと、全体としてどのようになっているか。</p> <p>3 「使用上の配慮等」について</p> <p>(1) 児童の学習意欲を高める工夫がされているか。</p> <p>(2) 自ら課題解決に取り組み、主体的に学習に取り組めるよう工夫されているか。</p> <p>(3) 目次、索引、注、諸表など、使用上の便宜が図られているか。</p> <p>4 「その他」について</p> <p>上記の1～3に含まれないもので、全体を通じて特色があれば記載する。</p>	
少数意見その他	<p>○どちらの教科書にも全てのページに二次元コードが付与されている。全ての児童が、学校以外のどこでも使用できるようにすることが課題である。</p>	

様式 2

教科名		家庭科				
取扱内容、内容の構成・排列	出版社名	教科書名	番号	出版社名	教科書名	番号
		東京書籍	新編 新しい家庭 5・6私がつくる みんなでつくる 明日をつくる	家庭・503	開隆堂	わたしたちの家庭科5・6
取扱内容、内容の構成・排列	<p>○「A家族・家庭生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。第5学年では、毎日の生活を見直し、家族の一員として仕事の仕方を考えたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々との関わりを見つめ地域の一員としてできることを考えたりする活動を通して、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くようになっている。</p> <p>○「B衣食住の生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。第5学年では、「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」を作ったり、「マイ・ミニバッグ」や「ミシンでのランチョンマット・ウォールポケット・クッションカバー」を製作したり、整理・整とん、そうじの活動、リサイクル活動や、第6学年では、「いためる調理」や「栄養のバランスのよい一食分の献立」を考えたり、「ふくろ」を製作したり、健康で快適な住まいを考える活動を通して、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身につけ、それらの課題を解決する力を養うようになっている。</p> <p>○「C消費生活・環境」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。第5学年では、計画的に消費する方法を考え、買い物をする際の必要な情報を確認する活動や持続可能の社会、第6学年では、環境に配慮した生活について考える活動を通して、消費生活・環境に関する知識および技能を身につけるとともに、それらの課題を解決する力を養うようになっている。</p> <p>○「家族・家庭生活の課題と実践」については、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できるよう、年末の大掃除やお正月の準備、地域の人々に感謝の気持ちを伝えるための取り組みなど、学んできたことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。「持続可能な社会へ物やお金の使い方」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、持続可能な社会をつくるには環境や資源に配慮していることを周りの人と交流するなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>			<p>○「A家族・家庭生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。第5学年では、毎日の生活を見直し、家族の一員として仕事の仕方を考えたりする活動や、第6学年において生活時間を工夫したり、地域の人々との関わりを見つめ地域の一員としてできることを考えたりする活動を通して、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付くようになっている。</p> <p>○「B衣食住の生活」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。第5学年では、「青菜のおひたし・ゆでいも」や「ご飯とみそ汁」を作ったり、「フェルトのカード入れ」や「ミシンでのランチョンマット・クッションカバー・マルチカバー」を製作したり、整理・整とん、リサイクル活動や、第6学年では、「いためる調理」や「栄養のバランスのよい一食分の献立」を考えたり、「ふくろ」を製作したり、健康で快適な住まいを考える活動を通して、食生活、衣生活、住生活に関する知識及び技能を身につけ、それらの課題を解決する力を養うようになっている。</p> <p>○「C消費生活・環境」については、目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。第5学年において計画的に消費する方法を考え、買い物をする際の必要な情報を確認する活動や、第6学年において環境に配慮した生活について考える活動を通して、消費生活・環境に関する知識および技能を身につけるとともに、それらの課題を解決する力を養うようになっている。</p> <p>○「家族・家庭生活の課題と実践」については、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、よりよい生活を考え、計画を立てて実践できるよう、そうじや整理整頓、布を使ったふくろの製作や、地域の人と仲良くなれる感謝の会を開くなど、学んできたことを生かすための具体的な活動例が取り上げられている。</p> <p>○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、次のような学習活動が取り上げられている。「持続可能な社会のために」の題材において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、SDGsを取り上げ、地域でおこなわれているごみを減らすための工夫やエネルギーの使い方を見直しを調べるなど、グループでその課題を解決することを通して、考えを広げたり深めたりする活動が取り上げられている。</p>		

	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4学年までの学習を踏まえ、2学年間の学習の見通しをもたせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「食べて元気！ご飯とみそ汁」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「まかせてね 今日の食事」で栄養のバランスに加えて、いんどりや味のバランスを考えた1食分の献立の立て方について学習するなど、系統的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>・「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、環境や資源に配慮した住まい方について考えるなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生活に生かすことができるような工夫がなされている。</li> </ul> <p>○内容の分量については、「A家族・家庭生活」は35ページ「B衣食住の生活」は79ページ、「C消費生活・環境」は8ページ、「A家族・家庭生活及びB衣食住の生活」は19ページ、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は9ページ、総ページ数は、150ページで、前回より約3%増となっている。また、判型はA4判である。</p>	<p>○内容の構成・排列については、次のような工夫がなされている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4学年までの学習を踏まえ、2学年間の学習の見通しをもたせるため巻頭にガイダンス的な内容を位置付けるとともに、「クッキング はじめの一步」で基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける学習を行った後に、「こんだてを工夫して」で栄養のバランスや調理の仕方、味のバランスを考えた1食分の献立の立て方について学習するなど、系統的に学習できるような工夫がなされている。</li> <li>・「B衣食住の生活」と「C消費生活・環境」の関連を図り、環境に配慮した衣服の手入れについて考えるなど、これまでの学習で身に付けた知識及び技能を生活に生かすことができるような工夫がなされている。</li> </ul> <p>○内容の分量については、「A家族・家庭生活」は32ページ「B衣食住の生活」は64ページ、「C消費生活・環境」は14ページ、「B衣食住の生活及びC消費生活・環境」は26ページ、「その他」は18ページあり、総ページ数は、154ページで、前回より約12%増となっている。また、判型はA4判と大きくなった。（前回AB判）</p>
<p>使用上の配慮等</p>	<p>○「安全」「環境」「発展」などのマークや「プロに聞く！」などのコラム欄を掲載することによって興味・関心をもたせたり、大きな写真やイラストを活用し学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○題材ごとに「見つめよう」、「計画しよう・実践しよう」、「生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」の3つのステップで授業が展開されるよう構成したり、学習の見通しをもつための「学習の流れ」を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用したり、全ての児童の色覚特性に適應するようデザインしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードをほぼ全てのページに掲載し、動画やワークシートを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>	<p>○「安全」「環境」「発展」などのマークや「キャリアインタビュー」などのコラム欄を掲載することによって興味・関心をもたせたり、学習の案内役のキャラクターを活用し学習活動を促したりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○題材ごとに「気づく・見つける」、「わかる・できる」、「生かす・深める」の3つのステップで授業が展開されるよう構成したり、学習の見通しをもつための「学習のめあて」を設けたりするなど、児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ユニバーサルデザインフォントを使用したり、色覚の個人差を問わず見やすくなるよう配慮したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードをほぼ全てのページに掲載し、動画やワークシートを活用できるようにするなど、使用上の便宜が図られている。</p>
<p>その他</p>	<p>○学習者用のデジタル教科書の発行が予定されている。 ※小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</p>	<p>○学習者用のデジタル教科書の発行が予定されている。 ※小学校用教科書目録（令和6年度使用 文部科学省）による</p>